

活動分野：

教育・人材育成 / 福祉・自立支援 / 健康・医療

研究者名（研究グループ名）：

食物栄養学科 福尾 恵介

活動概要

1人暮らし初心者と思われる高齢者（特に70歳以上）を対象として、食事・栄養、運動、心理的な側面など総合的なサポートを行うことを目的としている。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

今年で3年目です。研究所の柱の一つにしたいと思います。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	1人暮らし高齢者応援フェスタ
対象となる地域・企業等	西宮市鳴尾地区
活動学生(ゼミ・学年等)	学部ゼミ生（4年生）、大学院生（修士課程）
連携時期	平成27年度から毎年2月（特別学期）
学外への広報方法	ホームページ、学会発表、学術雑誌への掲載、市の広報誌、パンフレット、チラシ等
連携内容	地域の高齢者において、長年連れ添った配偶者を亡くし、1人暮らしを始めた直後は、孤立や栄養障害から要介護に移行するリスクが高い。本事業は、このような1人暮らし初心者と思われる高齢者（特に70歳以上）を対象として、食事・栄養、運動、心理的な側面など総合的なサポートを行うことを目的としている。本事業は、平成18年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の中の社会連携研究推進事業として採択された事業「地域の高齢者に対する包括的な栄養支援システムの開発と実践研究—生活意欲高揚による支援からの脱却と地域社会連携活動への参加—」（5年間の研究事業）を基盤として、西宮市社会福祉協議会との共同事業として、鳴尾地区の7つの分区のうち、鳴尾西と小松の2分区の1人暮らしを始めたばかりの70歳以上高齢者を対象として、試行的に開始した。平成28年度は2年目になり、前年度の試行をもとに見直しを行う。
成果	これらの活動を通じて、学生に対する参加型の実践教育や女性研究者の育成、さらに、将来の1人暮らし高齢者を支援する医療福祉人材の育成を行うことが可能になっている。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

--